

平素より大変お世話になっております。粒子線医療センターだより第8号をお届けいたします。

第7号に引き続き粒子線治療期間中に抗がん剤を併用する方法について紹介させていただきます。

局所進行性の肺がんや食道がんに対する抗がん剤とX線治療の同時併用療法は標準療法として確立されている事はご存知のとおりです。

粒子線治療中に抗がん剤を併用する利点は主に二つあります。

第一は、腫瘍の増大速度が非常に速く粒子線治療を開始しても

増大し続ける場合です。このような場合、カテーテルを用いて経動脈的に高濃度の抗がん剤を投与しながら粒子線治療を行う事で腫瘍増大を早期にストップさせる事が出来ません。第二は、陽子線や重粒子線を使ったとしても腫瘍周囲の正常組織に重篤な放射線障害が必発する場合です。このような場合は腫瘍への照射線量を抑える必要がありますが、腫瘍への治療効果が弱くなるという問題が起こります。その欠点を補う目的で抗がん剤の同時併用が有効となる場合があります。

次頁にお示しした具体例を参考に、治療にあたり困難な事例がございましたら是非ご相談下さい。



院長 沖本 智昭

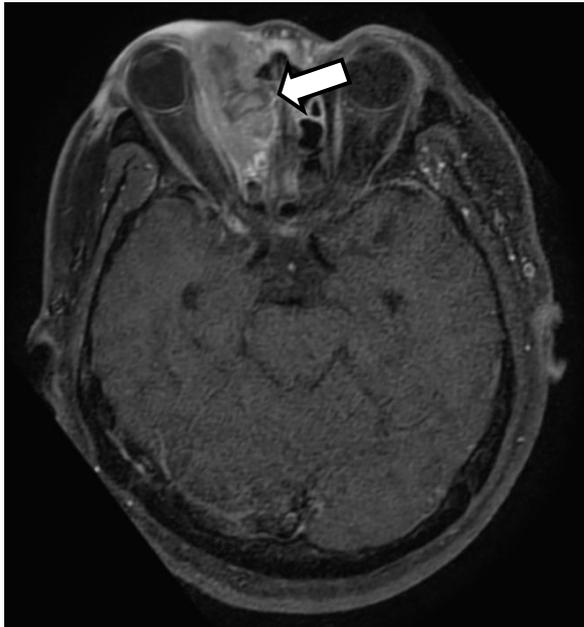
★★★ オンライン診療を始めました★★★

COVID-19 感染対策の一環としてオンライン診療を開始し、感染の心配なく診察を受けていただくことができるよう整えております。ご紹介いただく場合にはご検討いただければ幸いです。

★★★ 粒子線治療についての出前講演について ★★★

貴施設におかれましては、がん治療に関する講演会等の催しを定期的で開催されていると存じますが、粒子線治療に関して講演の機会を頂ければと思います。院長あるいは当院の専門領域の医師が伺いますので下記までご連絡頂ければ幸いです。なお、講演費は不要です。(COVID-19 が落ち着いたところで調整させていただきたいと存じます。)

連絡先：0791-58-0100 (代表) (9:00-17:00)
医療連携 藤本/深澤



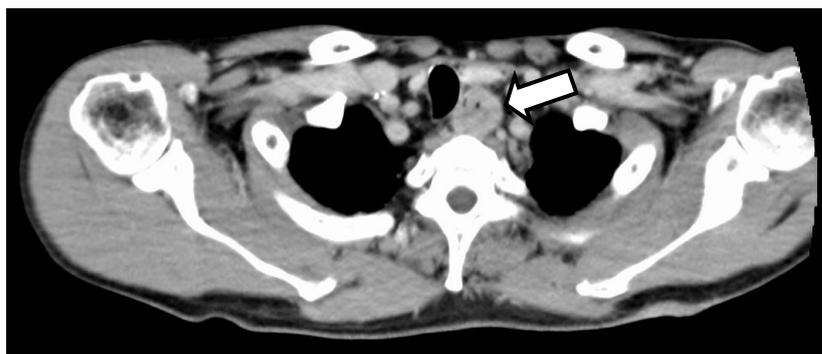
治療計画時造影 T1 脂肪抑制画像

眼窩周囲の疼痛、腫脹のため近医の精査にて篩骨洞扁平上皮がんと診断。脳や眼窩に骨破壊を伴う浸潤あり、Cisplatin 同時併用の陽子線治療(70GyE/35回)を施行した。



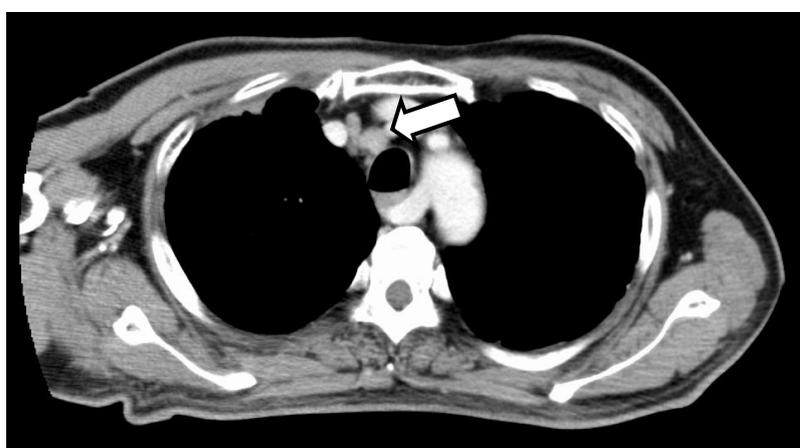
治療計画時造影 CT 画像

消化器症状のため近医の精査にて切除不能局所進行膵頭部癌と診断。Gemcitabine 同時併用の陽子線治療(67.5GyE/25回)を施行した。



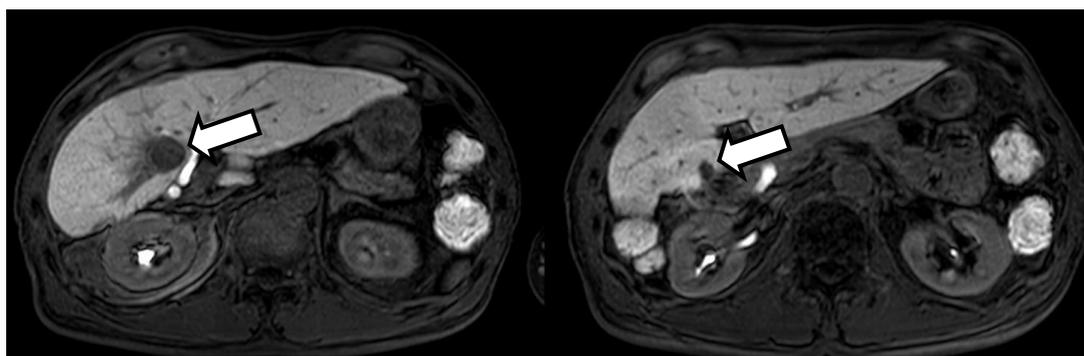
治療計画時造影 CT 画像

嚥下困難あり近医での精査で食道癌と診断。Cisplatin + 5-Fu 同時併用の陽子線治療(60GyE/30回)を施行した。



治療計画時造影 CT 画像

切除拒否の臨床肺癌に対して重粒子線治療(69.6GyE/12回)を施行したが縦隔リンパ節に転移を指摘された。Carboplatin + Paclitaxel 同時併用の陽子線治療(60GyE/30回)を施行した。



治療計画時造影 MRI 画像

近医でS7の肝細胞癌とS5の再発に対して腹腔鏡下切除。その後、S4~8に再度再発あり当院紹介となった。TACEを施行したがLipiodol沈着不十分な領域を認め粒子線治療の方針。治療計画用の画像検査を行ったところ、S6に新規病変を認めTACEを施行。引き続き2か所に対する重粒子線治療(76GyE/20回)を施行した。

陽子線治療・重粒子線治療の診療区分について

- A. 陽子線治療及び重粒子線治療が保険診療で施行可能な疾患
手術による根治的な治療法が困難である限局性の骨軟部腫瘍
頭頸部悪性腫瘍（口腔、咽喉頭の扁平上皮がんを除く）
限局性及び局所進行性前立腺がん（転移を有するものを除く）
- B. 陽子線治療のみが保険診療で施行可能な疾患
小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍に限る）
- C. 陽子線治療が先進医療で施行可能な疾患
頭頸部悪性腫瘍（口腔、咽喉頭の扁平上皮がん）、肺・縦隔腫瘍、消化管腫瘍、肝胆膵腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る）
- D. 重粒子線治療が先進医療で施行可能な疾患
肺・縦隔腫瘍、消化管腫瘍、肝胆膵腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る）
- E. 陽子線治療及び重粒子線治療が自由診療で施行可能な疾患
上記の保険診療、先進医療で施行できない疾患だが、当院、兵庫県立がんセンター、兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、神戸大学医学部附属病院、IHI 播磨病院の医師による協議（カンサーボードと呼ばれています）で認められた疾患

ご紹介の手順

粒子線 兵庫

検索

当センターのHP内の 主治医の先生へ から疾患ごとの様式をダウンロードし FAX で送信ください。

●セカンドオピニオン

医療機関・患者様のいずれでも予約ができます。

HPから様式をダウンロードし、FAX送信していただくか、お電話でも予約可能です。オンライン診療も行っています。

●メール相談

粒子線治療の適応についての御相談を随時受け付けております。

詳しくはHPをご参照ください。

兵庫県立粒子線医療センター

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都 1-2-1

電話番号:0791-58-0100

FAX 番号:0791-58-2600

<https://www.hibmc.shingu.hyogo.jp>